

健康科学研究科オープンラボ

大学院での研究活動を通した「問題解決能力」の獲得

高齢者人口とその総人口に占める割合は年々増加し、「2025年問題」として指摘されていた年になりました。2025年6月に厚生労働省が発表した「令和6年(2024)人口動態統計月報年計(概数)の概況」によると、我が国における2024年の出生数は686,061人で前年より41,227人減少し、合計特殊出生率も1.15と、前年の1.20から低下しています。こうした超高齢社会における健康に係る問題は、多くの因子が複雑に関連しています。そのため、私たちが直面する健康問題を解決するには、1つの専門領域の知識では対応できず、学際的な知識や視点の重要性が高まっています。

豊橋創造大学大学院健康科学研究科では、健康に影響を及ぼす様々な因子を俯瞰し、多角的な視点で健康の維持増進や健康寿命の延伸に係る諸課題を解決に導く能力、いわゆる『問題解決能力(着眼点、問題点の抽出、適切なアプローチと考察)』を培うプログラムを用意しています。この『問題解決能力』の獲得は、健康問題はもちろんあらゆる分野において将来直面する未知の諸課題に取り組むための強力なツールになります。

さてこの度、本研究科で取り組んでいる「未知の健康課題」の解決に向けた取り組みである「研究」の一端と教育プログラム(学修支援制度を含む)を紹介する「オープンラボ」を開催します。是非この機会に本研究科で行われている研究に直接触れていただき、健康科学研究そしてその背後にある『問題解決能力』を身近に感じていただければと考えています。そして、人々の健康を支え、健康寿命延伸に寄与するべく未知の課題の取り組み、将来の健康諸課題の解決をしようではありませんか。これまでのバックグラウンドは問いません。大学院を知りたい、研究そして『問題解決能力』について興味のある方など、多くの参加をお待ちしています。

副学長・大学院健康科学研究科長 後藤 勝正

看護学領域

対面
方式

7.26(土) 8.9(土)

時間／13:30～15:00(90分)

会場／豊橋創造大学 E棟2F E21教室

リハビリテーション領域

WEB・対面
ハイブリッド
方式

9.1(月) 9.24(水)

時間／19:00～20:30(90分)

会場／豊橋創造大学 E棟2F E21教室

申し込み方法

参加申込フォーム

右記セミナー申込フォームから必要事項をご入力ください。その際に申し込んだメールアドレスへの返信をもちまして、申込完了となります。

Mail

kenkoukagaku@sozo.ac.jp

上記アドレスに「参加希望講座日」「氏名」「電話番号」を記載してMailしてください。

電話

TEL.0532-54-9725 お電話にてお申込ください。

申し込み締切日

開催日の2日前まで

参加方法

後日参加申込された方にお知らせします。参加案内はセミナー開催の2日前までにお送りします。届かない場合は下記までお問い合わせください。



<https://www.ocans.jp/sozo/schedule?fid=6hrwUdpn>

■お問合せ先

豊橋創造大学 入試センター

TEL:0532-54-9725 Mail:kenkoukagaku@sozo.ac.jp

本セミナーに関する質問事項等があれば、上記のお問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[諸連絡]いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

人々の健康を支える健康科学研究

7/26(土)

看護学領域

対面
方式

時間

13:30～15:00(約90分)

大学院での学びについて/20分 教育講座/60分 事務連絡/10分

教育講座

独居高齢者の療養生活支援システム 蒔田 寛子

我が国は少子高齢化、家族構成の変化等から、家族の支援が得られない者が増加している。特に医療ニーズがあり、ADLが低下した状態で在宅生活を営む高齢者には様々な立場の支援者が必要である。医療ニーズがあるADL低下高齢者の独居療養生活を継続するための支援について、保健医療福祉領域の支援機能の視点から、機能充足型の支援システムを探索し、独居療養者のQOL向上に寄与することを目的とし研究に取り組んだ。研究結果を踏まえ、独居療養生活と独居療養生活支援について解説し、ソーシャルキャピタルと多職種連携を前提とした療養生活支援について紹介する。

8/9(土)

看護学領域

対面
方式

時間

13:30～15:00(約90分)

大学院での学びについて/20分 教育講座/60分 事務連絡/10分

教育講座

実践に繋げるエビデンスに基づく看護技術 藤井 徹也

エビデンスに基づく看護技術は、医療の高度化に伴い特に必要とされている。これまでは、「筋肉内注射」「浣腸」「排便の循環への影響」「清拭」などの看護技術のエビデンスを研究してきた。これらの研究から、身体への影響および安楽性など指標とした結果を得ている。現在は、エコーの臨床での活用に関して研究を進めている。今回は、最新の看護技術のエビデンスについて概説する。

9/1(月)

リハビリテーション領域

WEB・対面
ハイブリッド
方式

時間

19:00～20:30(約90分)

大学院での学びについて/20分 教育講座/60分 事務連絡/10分

教育講座

骨格筋機能の改善策の確立へ向けて 後藤 勝正

生体機能は、生体内外から負荷される刺激を受容し、その刺激に応じて適応・変化を示す。こうした適応・変化は、遺伝子発現の変容による細胞内タンパクの種類や量の変化あるいは既存のタンパク機能の変化によってもたらされる。リハビリテーションやトレーニング効果は、こうした細胞内タンパクの変化を背景に行われているが、その多くは経験則によるもので多くのメカニズムは不明である。これが、トレーニングやリハビリテーションがある種の職人技として扱われている原因である。生体機能を回復あるいは向上させる刺激とその受容の仕組みが明らかになることで、多くの人々がリハビリテーションやトレーニング、そして運動の恩恵を受けることができるであろう。そこで、生体機能適応のメカニズムと今後の研究の展望について概説する。

9/24(水)

リハビリテーション領域

WEB・対面
ハイブリッド
方式

時間

19:00～20:30(約90分)

大学院での学びについて/20分 教育講座/60分 事務連絡/10分

教育講座

支持基底面内に重心があればバランスを保てる？

富田 秀仁

「支持基底面内に重心がある＝バランスが保てる」と考えていませんか？実は違います。支持基底面の中で重心が保てる範囲は、実はかなり狭いことが分かっており、これを安定性限界といいます。今回の教育講座では、高齢者や神経疾患患者さんの安定性限界に関する研究を紹介しながら、安定性限界を拡大するための理学療法アプローチの方向性について考察します。

▼入試日程

	出願期間	試験日
社会人選抜入試・一般入試 一期	2025年 9月22日(月)～2025年10月 6日(月) 消印有効	2025年10月11日(土)
社会人選抜入試・一般入試 二期	2025年 11月26日(水)～2025年12月 8日(月) 消印有効	2025年12月13日(土)
社会人選抜入試・一般入試 三期	2026年 1月16日(金)～2026年 1月28日(水) 消印有効	2026年 2月 5日(木)
社会人選抜入試・一般入試 四期	2026年 2月 6日(金)～2026年 2月23日(月) 消印有効	2026年 3月 5日(木)

入学前には
研究室訪問
もしくは
要相談

■お問合せ先 豊橋創造大学 入試センター TEL:0532-54-9725 Mail:kenkoukagaku@sozo.ac.jp